

## A. N. 社会システム学科 3年次

### I. 留学レポート

#### ① 協定留学を目指した理由

中学生の頃に KPOP アイドルを好きになり韓国に興味を持ち始めたのがきっかけです。次第に KPOP アイドルが話す韓国語を理解したいと思うようになり、高校生の時に第二言語として韓国語を選択して韓国語を学び始めました。そして、高校生の頃から大学生になったら韓国留学をしてみたいと思うようになり、韓国への留学制度が設けられている本学に進学しました。休学せずに 1 年間留学することを望んでいたため、協定留学制度を利用することに決めました。

#### ② 留学を目指してから出願までの韓国語学習方法

本学で開講されている韓国語の授業を履修したり、出願には TOPIK3 級に合格していることが必須条件だったため、TOPIK の試験勉強をしたり韓国語の塾に通ったりもしていました。

#### ③ 留学決定から出発までの準備期間

留学決定後は韓ドラを見たり YouTube で韓国アイドルのコンテンツを見たりして語学勉強をしていました。ビザの申請手続きに関しては、本学の国際課より紹介していただいた代理会社を利用したため、必要書類を提出するだけでした。

#### ④ 現地到着後

空港に到着後、タクシーに乗って大学まで向かいました。大学に到着後、入寮の手続きなど簡単な寮の説明を寮の事務室の方にしていただいた後、割り当てられた部屋まで一緒に荷物を運んでいただきました。入寮してから 5 日目にレベル分けテストをして、その 2 日後にオリエンテーションが行われました。レベル分けテストでは、問題を解いて解答を書く試験と韓国人の先生と 1 対 1 で会話をする試験の 2 つがありました。オリエンテーション時に、レベル分けテストの結果や履修登録の説明、ソウル女子大学の講義で必要になるアプリの説明等を受けました。

#### ⑤ 語学研修期間

##### ◆ 語学研修先の施設・環境について

基本的に 50 周年記念館と呼ばれる建物の中にある教室で行われます。この建物の 1 階には、カフェやパン屋、コンビニなどがあるのでとても便利でした。さらに 50 周年記念館は寮から 10 分ほどの距離に位置しているため、移動が楽にできたのがよかったです。ソウル女子大学は学内に車道があり頻繁に車の出入りがあるため、車には気を付けないといけません。

#### ◆ 授業内容、課題、試験

語学堂の授業は、週2回ありました。会話とリスニング、作文と読解の授業があり、それぞれ教科書を用いて授業が行われます。会話とリスニングの授業では、単語と文法を習います。作文と読解の授業では、会話とリスニングの授業で習った単語と文法を用いて教科書の問題を解きます。どちらの授業も授業が進むペースが速いのと、当てられて答えることが多いため、復習や予習をしておくことをおすすめします。試験は2日間に渡って実施され、1対1で先生の質問に口頭で答える試験・リスニング・読解・文法・筆記試験がありました。基本的に毎回授業に出席して教科書の問題を解いていれば、試験自体は簡単なので心配する必要はないと思います。

#### ⑥ 正規科目履修期間

##### ◆ 大学の施設・環境について

大学の最寄り駅は、歩いて20分ほどかかるため不便でしたが、ソウル女子大学の学生であれば無料で大学のシャトルバスに乗ることが出来るため、私はよく利用していました。また、学校近くにバスの停留所もいくつかあり運賃も安いのでよく乗車していました。

##### ◆ 履修科目

私は語学力の向上を目的に留学に行ったため、語学に関わる授業を沢山履修しました。

##### ◆ 授業、レポート、定期試験

（春学期）

###### ・ 중급한국어쓰기（中級韓国語書き）

教科書を使って文法や定型文の書き方などを学びました。正しいメール文作成等の課題が出たこともありました。定期試験は、中間テストと期末テストの2回ありました。事前にどのような形式で試験が行われるのか教えてもらえるので、その通りに勉強すればいい点数が取れると思います。

###### ・ 중급한국어읽기（中級韓国語読み）

教科書は使用せず、韓国の昔話を題材にして授業が行われました。段落ごとに内容を要約して、物語全体の理解を深めるという授業でした。また、並行してことわざや慣用句などの表現も学びました。授業自体の進行が速く単語も難しいため、私は事前に予習をして内容理解をしたうえで授業に臨んでいました。定期試験は、中間テストと期末テストの2回ありました。復習プリントとして配布されるものと同じ問題様式で、出題される問題だけが変わるテストでしたが、内容は1度授業で習ったものでした。

###### ・ 한국문화입문（韓国文化入門）

教科書を使用して、韓国の文化や歴史を幅広く学びました。韓国の中の一つの地域を実際に訪れて、レポートとpptを作成して提出後、発表がありました。定期試験は、中間テストと

期末テストの2回ありました。定期試験では、暗記しないといけないものが多かったのと、記述で解答する方式だったのでテスト勉強が少し大変でした。

・ 고급한국어읽기（高級韓国語読み）

教科書の長文を読んで内容理解と単語、様々な表現を学びました。毎回の授業で穴埋め式問題の課題が出されます。また、指定された本の中から1つ選択して読み、その本の要約や感想を発表するというものがありました。定期試験は、中間テストと期末テストの2回ありました。

・ 고급한국어쓰기（高級韓国語書き）

先生が作成した教科書を使用して、韓国語の基礎や定型文を学び、文章を作成する練習もしました。学期の最後には、レポートを作成する課題がありました。定期試験は、中間テストと期末テストの2回ありました。試験問題は、復習プリントとして配布されるものと同じ問題様式で、出題される問題だけが変わるテストでしたが、内容は1度授業で習ったものでした。

・ 고급한국어말하기（高級韓国語会話）

教科書を使用して、リスニングや単語、文法を学びました。会話の授業ということもあり、ペアで行う練習の機会が多くありました。また、グループ発表もありました。定期試験は、中間テストと期末テストの2回ありました。

・ 해피크라프트（ハッピークラフト）

この授業では、陶磁器やお皿等の作品を作成します。3週ごとに担当の先生が変わるローテーション方式で授業が行われ、4つの作品を作ります。1つの作品を完成させるのに授業回数が3回ずつしか設けられていないので思ったよりも時間が足りず大変でしたが、授業の雰囲気自体は割と自由なので楽しんで授業に参加していました。定期試験はなく、1つの作品を作り終えるごとにレポート課題がありました。

⑦ クラブ、課外活動、ボランティア活動

していませんでした。

⑧ 現地での住まい

国際生活館という学内にある寮で暮らしていました。部屋は2人部屋で、ベッド・クローゼット・机・冷蔵庫があります。トイレ・シャワー室・洗面台は部屋にないのでわざわざ部屋の外に出ないといけないのが不便でした。国際生活館自体は3階までありますが、キッチンが1階にしかなく、流し台・電子レンジ・トースターがありました。授業期間は、食堂が営業しているので、ほぼ毎日利用していました。

⑨ 長期休暇の過ごし方

私は夏休みと冬休みに語学堂を受講しました。語学堂は、土日祝以外の平日9時から13時まで授業があります。毎日新しい文法や単語を習い課題も出るので大変ですが、韓国語がか

なり上達したと思います。休暇中は、国際生活館から隣にあるシャロムハウスという寮に移動して生活します。シャロムハウスは、1人部屋・2人部屋・4人部屋のどれかを事前に選択でき、申請時に希望のルームメイトがいれば名前を書いて指定することも可能でした。私は夏休みと冬休みの両方とも4人部屋を選択し、日本人4人で生活していました。シャロムハウスは国際生活館よりも部屋が広くてきれいで、トイレやシャワー室、洗面台も備え付けられているため、とても快適でした。

#### ⑩ 留学期間中の就職活動の取り組み

本学のキャリア支援部の就活動画を視聴しました。ですが、留学中は就職活動の情報などが少ない上に、休暇期間（夏季・冬季）は語学堂を受講していて忙しかったということもあり、これといった就職活動はしていませんでした。

## II. 留学の感想

### ① 留学中で楽しかったこと、最も思い出に残っていること

留学中で楽しかったことは、寮で仲良くなった日本人の友達や、留学中に大学内で知り合った韓国人の友達、バディ制度で仲良くなった韓国人の友達と韓国の様々なところへ遊びに行ったことです。様々な地域に行って旅行をして日本では味わえないような貴重な体験も沢山しました。

### ② 留学中でつらかったこと、最も苦労したこと

留学中で辛かったことは、言語の壁にぶつかったことです。私は、留学に来るまで韓国人と話したことがほとんど無かったため、授業や先生の話す韓国語のスピードが速くて分からないことや聞き取れないことが多々ありました。留学初期のころは、韓国語の実力があまりなかったということもあり、授業内容を理解してついていくことが大変でした。

### ③ 文化・習慣の違いなどで驚いたこと

韓国は、カフェや飲食店など基本的にどこでも電子機器の充電をしても良いということに驚きました。実際に、飲食店で客が店員の方に携帯の充電を頼み、お会計の際に返却してもらっている場面を見たことがあり、大変驚きました。

## III. 留学希望者へのアドバイス

### ① 留学先大学の良かった点、悪かった点

良かった点は、先生方が本当に優しく、学生一人一人に親身になって向き合ってくくださった点です。韓国は、先生方と生徒の距離が非常に近いため、困っていることなどあればいつでも相談に乗ってくれるのが本当にいい点だと思います。また、大学自体が広くてカフェや食堂・コンビニ・郵便局・銀行などがあり、施設が充実しているのも良い点だと思います。悪かった点は、ソウル女子大学の国際課の対応がよくありませんでした。留学生にとって必

要な情報や重要なお知らせを交換留学生に伝達するのが毎回遅く、自分たちから直接問い合わせをしないと動いてくれなかったことが何度かありました。分からないことや疑問に思ったことがあれば、お知らせを待つのではなく、直接問い合わせに行って確認することをおすすめします。

## ② 日本から持って行って、特に役に立ったもの

パソコンは必須だと思います。レポート課題などを作成することがあったので、持っていくべきだと思います。また、お菓子や簡単に食べられる日本食を持って行っていくこともおすすめします。

## ③ 語学力の向上等、留学の成果、留学前と後で変わったこと

語学力は、かなり上達したと思います。特に、リスニングと会話力が伸びたと感じました。留学初期は、分からないことだらけで会話を全部理解することができず、話したいことも上手く伝えることが出来なかったのですが、留学を終えるころには韓国人と日常会話ができるほどには語学力も向上し、成長したと思います。

## ④ これから留学をしようと思っている後輩へのアドバイス

語学力や現地での生活等の不安に思うことはいくつかあると思いますが、留学は学生のうちしかできない貴重な経験だと思います。語学面でも人間としても成長できるいい機会になると思うので、留学を迷っている方はぜひ勇気を出して一歩踏み出して挑戦してみてください。

## IV. 将来の目標

### ① 今後の進路、将来の目標・夢

今後、韓国語と観光業に関連した仕事に就きたいと考えているので、留学で得た経験をもとに就職活動を頑張りたいと思います。

## V. 写真



ソウル女子大学で行われた学祭の時の写真です。有名な歌手の方が来ていたので、ライブ会場のように盛り上がっていました。



夏休みに友達と済州島に行った時の写真です。少し暑かったですが、天候に恵まれてとても楽しい旅行になりました。



寮で仲良くなった友達と最後のお別れをした時の写真です。留学中の思い出を振り返って、最後にケーキを食べながら話を沢山しました。